

美谷本小学校だより

【学校教育目標】

自ら学び、自ら考え、正しく判断し、行動力ある人間性豊かな児童を育てる



蒼空

臨時号

平成22年12月24日

戸田市立美谷本小学校

子どもをやる気にさせるには

戸田市立美谷本小学校 教頭 佐々木 毅

以前、新聞のコラムにエッセイストの吉永みち子さんが書かれた「子供に生きる力をつける」という大変興味深い記事を見つけました。その内容の一部を紹介します。

以前、鳥根の公立中学校教師で語学教育のMVPと言われるパーマー賞を受賞し、ニューズウィーク誌の「世界のカリスマ教師100人」に選ばれた田尻悟郎氏の話の聞きに行った。その時、授業の目的は？という問いに即座に3つのポイントをあげた。「グローバルシティズンを育てる。自分の行動に責任を持つ子を育てる。地域社会に建設的な働きができる子を育てる。そのためにコミュニケーション能力と社会性が必要で、それを身につけさせるのが教育」

中学の英語教師だった田尻先生は、それを自らの英語の授業で実践した。見せてもらった子どもたちの英語のノートは、感嘆の声をあげるほどきれいだった。大文字も小文字も決められた線の中にぴったり納まり乱れがない。それをストップウォッチ片手に30秒で書くように求める。はみ出ししたりしたら許さない。当然、子どもたちからブーイングが起こる。

「ええやん、ちょっとくらい」「なんでアカンの？」

これに先生はきっちり答える。

「お前ら大きくなって車乗って、壊れたらどうする？」

「修理に出します」

「約束の日に取りに行って、遊んじゃって出来てませんって言われたらどないする？」

「そんなん、ダメや」

「じゃ、約束どおりできていたけど、ボコボコやったらどうや？」

「怒る」

求められていることがなぜ必要なのか、意外な方向からだんだん見えてくる。

「期日を守って最高の仕事せな、世の中通用せえへんのやで。30秒は期日、誰が見てもきれいな文字は仕事の質や」

と言うと、子どもたちは一生懸命、最高のノートを目指して頑張る。大人が教え込もうと説得しても子どもは動かないが、納得すれば心が反応して夢中になる。

英語の授業を通して、まさにコミュニケーション能力と社会で生きる力が身につけてしまう。こういう教師とのやりとりが、教科を超えてピンチの局面で役立ったということは、昔はよくあったように思う。教師が全人格勝負でかかれれば、社会で生きる力は子どもに身につくのだと思う。悲しいかな、人格勝負に耐える教師が少ない。

と、吉永さんは結んでいます。

「子どもは大人の言うようにはならない、するようになる。」と言われますが、この文章を読んでいて、教師も親も改めて日頃の言動、特に言葉かけに気をつけなければならぬと思いました。時代とともにますます多様化する子どもたちを納得させ、やる気をもたせるために、学校でも教師全員が、教師力を高めるための研究と修養に努めてまいりたいと思います。

今年1年間ありがとうございました。どうぞよい新年をお迎えください。

明日から冬休み

明日25日(土)から1月10日(月)まで、カレンダーの関係で17日間の長い冬休みになります。11日(火)には全員元気に登校できるように、児童の体調管理をよろしくお願いいたします。

給食費の引き落としについて

1月分の給食費の1回目の引き落としは4日(火)です。年末年始のあわただしい時期ですので、残高不足にならないよう指定口座への入金をよろしくお願いいたします。

1月の主な行事予定

- 1日(土)【祝】元日
- 4日(火)仕事始め
- 10日(月)【祝】成人の日
- 11日(火)後期後半開始日
戸田市教育フェスティバル
- 12日(水)給食開始
- 14日(金)市道徳研究部授業研究会
- 18日(火)3つの達成目標検証日
- 19日(水)教育相談日
- 20日(木)開校記念日
- 24日(月)クラブ
- 28日(金)美谷本パラダイス
- 31日(月)委員会活動

めあてに向かって走りぬいた持久走大会

12月2日(木)、12月とは思えない暖かな日差しの中、道満グリーンパークを会場に校内持久走大会を実施しました。低学年は600m、中学年は1km、高学年は1.5kmを走りましたが、自分のめあてに向かって一杯走る子どもたちの姿に、応援に来られた保護者の方々から大きな声援がとんでいました。

当日、会場係として御協力いただいた皆様、応援に駆けつけてくださった皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



がんばった戸子連スポーツ大会

1月28日(日)、戸田市スポーツセンターで戸田市子ども会育成連合会主催の「戸子連スポーツ大会」が行われました。戸子連12支部の子どもたち600名の参加選手による綱引き大会で、本校の子どもたちは、1・2・3



年生の低学年の部で大活躍し、準優勝という栄誉に輝きました。児童数

が市内で一番少ない上に、耐震補強工事の関係で地区予選に体育館が使えないというハンデがありましたが、みんなで力を出し切りたいへん良い成績を収めてくれました。

